

空きテナントから漏電

高岡営業所 保安課 廣田 将司

ある日のお昼過ぎ、担当しているテナントビルのお客さまの絶縁監視装置^(※)が発報しました。過去にも絶縁監視装置が、数ヶ月に一度の頻度で発報しており、「今度こそは」という思いで原因究明のため急行しました。

早速お客さまに絶縁監視装置が発報したことをお伝えし、臨時点検を実施しました。絶縁監視装置を確認すると電灯回路に動作表示があり、現在の状態を確認すると、幸いにも漏電は止まっていたことから、しばらく様子をうかがっていましたが、再度漏電を確認することは出来ませんでした。

「また原因を特定出来なかったか」とがっかりしましたが、お客さまに現状報告し、何か異変が無いか、いつもと変わった事が無かったかなど「問診」をおこなったところ、午前中に4階（空きテナント）を清掃業者がワックス掛けしていたとの情報を頂きました。関係ないかなと思いつつも、空きテナントを確認すると、床面に設置してあるフロアコンセントの1つが浮き上がり、固定不良の状態になっているのを発見しました。「これだ！」まさかと思いお客さまに4階の停電許可を頂き、そのフロアコンセントを引き上げてみるとなんと内部に水が溜まっていた。絶縁監視装置が発報した原因は、固定不良のフロアコンセントの隙間から清掃時の水が浸入したことによる漏電でした。

お客さまは「空きテナントから漏電なんて」と驚かれていましたが、今回のように固定不良や破損・汚損等しているコンセントから漏電や感電、火災等もあり得ることをお伝えするとともに、清掃業者様にも床面ワックス時のフロアコンセントへの養生をお願いしました。

当協会は、日頃から電気事故を未然に防止するため異常の早期発見、設備の予防保全、迅速な対応を心がけておりますが、異常発生時はお客さまより頂く情報が故障箇所発見に繋がるが多くあります。些細なことでも御相談下さいますようお願い致します。

※ 絶縁監視装置とは、24時間365日お客さまの電気設備の漏電を監視する装置です。
(絶縁監視装置及び設置工事費は当協会にて負担し、維持管理も行います。)

